



地域研究集会

第 12 回日本海研究集会
自然の恵みを利用した増養殖研究の新たな可能性を考える
～水産海洋学と水産増養殖学のコラボレーション～

日時：2023 年 12 月 2 日（土）13:15～17:00

場所：福井県立大学小浜キャンパス（福井県小浜市学園町 1-1）新講義棟・大講義室 II

共催：日本水産増殖学会・福井県立大学

コンピーナー：富永 修・濱口昌巳・渡慶次 力（福井県立大海洋生物）

申込：<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScwXEvDoLZElkyZpkK65fCYnU3pZ0uJ2lIPvSW0inyDdz-LxQ/viewform>, 締切 11 月 24 日（金）

定員：100 人（締切日前に定員に達した場合、その時点で締切となります）

問合せ先：tokeshi@fpu.ac.jp（渡慶次）



司会：渡慶次 力（福井県立大海洋生物）

開会挨拶 13:15～13:25

木村伸吾（一般社団法人水産海洋学会会長）

佐藤秀一（日本水産増殖学会）

開催趣旨説明 13:25～13:35

富永 修（福井県立大海洋生物）

座長：富永 修（福井県立大海洋生物）

1. 海洋環境・生態学からみた二枚貝類増養殖のこれまでとこれから

濱口昌巳（福井県立大学海洋生物） 13:35～14:05

2. 福井県のバフンウニ漁の実態から見えてきた持続的な資源利用の仕組み

仲野大地（福井水試） 14:05～14:25

ポスター発表（高校生・大学生など）・休憩 14:25～15:30

座長：濱口昌巳（福井県立大海洋生物）

3. 小浜市のかき類養殖の取り組み

上村洋亮（小浜市里山里海課）・松下卓也（小浜市漁協） 15:30～15:50

4. 福井県立若狭高等学校における探究活動

中村恵美莉（福井県立若狭高等学校） 15:50～16:10

総合討論 16:10～16:45



座長:富永 修・濱口昌巳・渡慶次 力 (福井県立大海洋生物)

ポスター発表表彰

16:45～16:55

閉会挨拶

16:55～17:00

渡慶次 力 (福井県立大海洋生物)

開催趣旨: 2022年に福井県立大学に新設された「先端増養殖科学科」は、若狭湾を実験フィールドとして、水産科学、ゲノム科学、環境科学、情報科学の幅広い視点から増養殖学研究を展開する。その中で無給餌養殖を主要テーマの一つに挙げている。無給餌養殖は自然の生産力を利用することから、海洋環境の情報を最大限に活用した持続可能な増養殖システムといえる。しかし、養殖生産を効果的に進めるためには、海洋環境のモニタリングを実施し、現状の把握や時空間変動を予測することが求められる。特に、幼生を自然採苗する場合は、物理環境だけでなく幼生の分布や季節的動態も不可欠な情報になる。無給餌養殖業は、それ自体が生業であり、流通・販売や観光などを通して地域振興の役目を担い、さらには自然環境を五感で感じながら社会活動を学ぶ海洋リテラシーの観点からも重要である。本研究集会では、かき類とバフンウニをとりあげ、地域振興や教育の視点からの事例も紹介し、水産海洋学と水産増養殖学のコラボレーションがもたらす水産増養殖研究の新たな可能性を議論する。